



伝統を力に新しい時代(令和)の幕あけ

校長 小林 理人

平成の時代が幕を閉じました。平成最後の月となった4月は、有終の美を飾るうれしいことがたくさんありました。これまで子供たちや地域、保護者の皆様と力を合わせて育ててきたことや、バトンをつなぐように大切に続けてきたことが二小の伝統となり、それが力となって二小桜のように花開きました。

欠席者0人・みんなの笑顔がそろった！

国立二小に着任して6年目になりますが、これまで一度も経験したことがない「欠席者0」の日が、2回ありました。子供の幸福、成長を心から願う大人の気持ちや、楽しい学校生活を自分たちで創ろうとする子供たちの思いや力がひとつになって実現したことです。

楽しい学校生活を自分たちで創ろうとがんばっている子供たちと、それを支えてくださった地域、保護者の皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいになりました。

新しいことにチャレンジ！

4月11日(木)の音楽集会は1年生を迎える会の歌を練習するために計画した集会でした。担当の教員が集会の進め方を6年生に相談したところ、6年生から「これまでにしたことがない新しいことにチャレンジしたい」という意見が出されたそうです。6年生は、2年生から5年生までの各学年に自分たちが分かれて入り、歌についてアドバイスをするという方法を考えました。そして、集会では「1年生を迎えるうれしい気持ちを伝えよう」「1年生に喜んでもらおう」という6年生の思いが他学年の子供たちに伝わり、温かさや熱気に溢れる集会になりました。

卒業生から託された目標である「新しいことにチャレンジ」「明るい声かけ」「周りの人への感謝」を意識し、リーダーシップを発揮した6年生を私は頼もしく思いました。そして、仲間入りする1年生を思う子供たちの優しさ、温かさを強く感じました。

6年生のリーダーシップや子供たちの優しさ、温かさを感じたのは音楽集会だけではありません。避難訓練や1年生を迎える会、離任式など4月に行われた様々な場面で感じました。そして、改めて国立二小の地域、保護者、学校が育んだ伝統が力となって、子供たちの姿に表れていることを実感しました。

明日から10日間の連休になります。そして、5月は新しい時代「令和」の幕開けです。平成の時代にみんなで作った国立二小の**伝統**を力にして、新しい時代「令和」の学校づくりをスタートします。

「希望」の4月～学年だよりのタイトルに込めた私たちの思いや願い

<1年生・にこにこ>

はじめての学校生活、期待と不安で胸がいっぱいの1年生が毎日にこにここと楽しく学校生活を送れるといいなと思ってタイトルを「にこにこ」としました。にこにこ笑顔いっぱいの教室にしていきたいです。

<2年生・ひまわり>

ひまわりは笑顔の象徴です。2年生は、太陽に向かって真っすぐに伸びるひまわりのように、子供たちが「正しく」「明るく」「のびやかに」育ってほしいという願いを込めてタイトルを「ひまわり」としました。

<3年生・つながりの和>

3年生は、友達、親子、先生、そして、学校と地域、家庭、みんなで手を取り合って輪をつくっていきこう。そして、楽しく夢を実現していきこう。という願いを込めて「つながりの和」としました。

<4年生・スマイル>

みんなが笑顔いっぱいに過ごせるようにとの思いでタイトルを「スマイル」としました。やり遂げる喜びや、協力する喜びを子供たちと共に感じていきます。

<5年生・V FIVE>

昨年度の6年生が残した「新しいことにチャレンジ」というメッセージを受けて、どのようなことにも根気強く取り組み、勝利をつかみ取ってほしいという願いを込めてタイトルを付けました。

<6年生・輝>

一日一日が輝きのある充実した日々になるようにという願いを込めて「輝」というタイトルにしました。

<プラタナス・プラタナス>

「プラタナス」の花言葉は「天才」「好奇心」です。プラタナスのように大きく育ち、一人一人の個性を磨いてほしいという願いを込めました。